

2024年1月22日  
株式会社トライアルホールディングス  
日本電信電話株式会社

## トライアルとNTT、サプライチェーンマネジメント最適化実現に向けた連携協定を締結

株式会社トライアルホールディングス(本社:福岡県福岡市、代表取締役:亀田 晃一、以下 トライアル)と日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:島田 明、以下 NTT)は、リテール業界におけるサプライチェーンマネジメント(以下、SCM)最適化実現に向けて、デジタルツインコンピューティングによるサプライチェーンマネジメント(以下、DTC-SCM)の共同検討および研究開発に関する連携協定を2024年1月22日に締結しました。

本協定によりメーカー・卸・小売のデータ融合を加速し、DTC 技術によってリテール業界の店舗運営効率化・物流効率化・顧客価値向上等の実現を目指します。

### ①背景

トライアルは、流通業界の「ムダ・ムラ・ムリ」をなくすことで社会環境の変革を目指す、リテール DX を推進しています。これまで、リアルとデジタルの融合により、データと AI を活用した先進的取り組み(※1)を行ってきました。

NTT では傘下の NTT スマートデータサイエンスセンタにおいて、さまざまな産業ドメイン(都市開発、小売、交通、電力、農業、ヘルスケアなど)で、DTC による価値創造と社会課題解決に取り組んできました。DTC は、異なる業界やステークホルダごとに、それぞれ独自のデータに基づきデジタルツインの予測最適化 AI を構築し、それらの連鎖(AI 間連携)により相乗効果を得ることのできる NTT の技術です。単一のデジタルツインでは実現できない、新しい価値を創造することが可能です。

### ②概要

トライアルが持つリテール業界の知見・店舗・データ(※3)と、NTT が持つデータサイエンス分野の知見と技術を活かすことで、DTC による SCM 最適化実現を目指します。これにより、メーカー・卸・小売のデータ融合を加速し、また商品カテゴリごとに異なるサプライチェーンや購買傾向も加味した最適化実現を目指します。

### ③協定に基づく具体的な取り組み

トライアル店舗での実証実験に向けて、以下の取り組みについて2024年1月より共同検討および

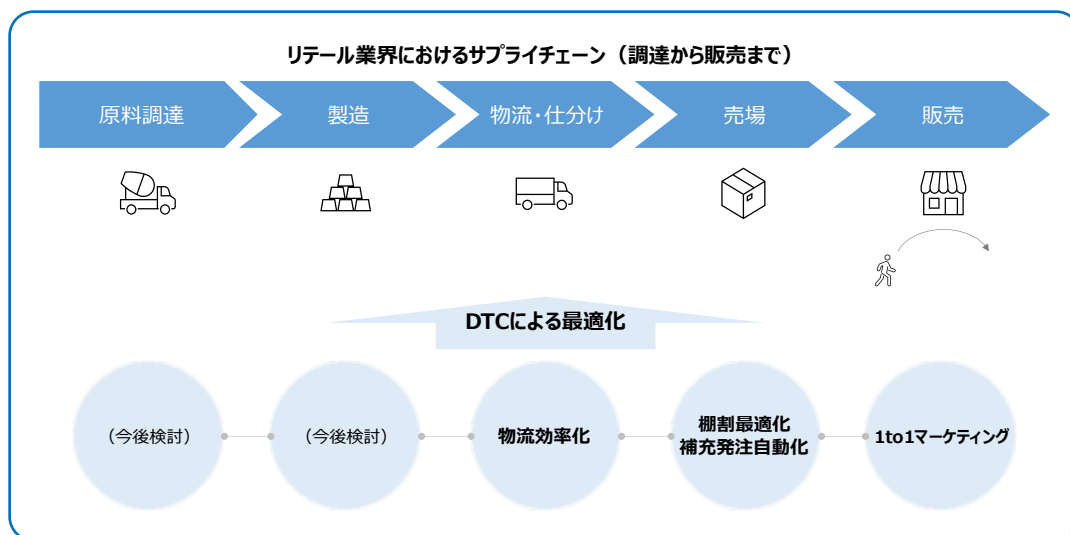
び研究開発を開始します。

取り組み 1:補充発注自動化(売場における欠品等によるチャンスロス、および廃棄ロスの削減)

取り組み 2:物流効率化

取り組み 3:プラプログラム(棚割最適化)

取り組み 4:1to1 マーケティング (ターゲティング型マーケティング) (※4)



「DTC-SCM」取り組み概要

※1 惣菜自動値下げや AI カメラによる売場状況の把握と顧客行動解析など

※2 NTT 研究所 (NTT スマートデータサイエンスセンタ)

※3 商品販売データなど

※4 クーポン・コンテンツ生成等において、大規模言語モデル「tsuzumi」(NTT によって 2024 年 3 月提供開始予定)の活用も目指す

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社トライアルホールディングス

広報 [pr@trial-holdings.inc](mailto:pr@trial-holdings.inc)

日本電信電話株式会社

広報部門 [ntt-pr@ntt.com](mailto:ntt-pr@ntt.com)